

鳴滝通信 1月号

京都市立鳴滝総合支援学校
校長 小林 一義
平成30年12月21日

今年もあと一週間ほどとなりました。来年の5月には元号が変わると報道されています。さて、鳴滝通信の12月号では、心機一転、新たな気持ちで新年を迎えるために、振り返りをしましょうとありました。今回は、新年を迎えるにあたって、「すべきこと」を記載していきます。

有名な戦国武将に「毛利元就（もうりもとより）」がいます。元就が息子に宛てた手紙で有名な言葉があり、「一年の計は春にあり・一月の計は朔（ついたち）にあり・一日の計は鶏鳴（けいめい）にあり」この言葉がきっかけで、今も伝えられている言葉が、「一年の計は元旦にあり」です。新しい一年の計画や目標は元旦に立てることで、一年を有意義なものにしようということです。みなさんも、来年の計画や目標を元旦に決めて、有意義な年にしていきましょう。

※朔（ついたち）とは、その月の第1日。

※鶏鳴（けいめい）とは、夜明け。

PTA フェスタがありました

12月8日（土）

「第21回京都市PTAフェスティバル」がみやこメッセにて開催されました。総P連で取り組んでこられた「はぐくみ情報展」をPTAフェスティバルのブースの中で開設し、総合支援学校8校の紹介や特別支援・障害を理解すること、防災にむけてのアピールがおこなわれました。



高1）着付体験がありました

12月17日（月）

高等部1年生で着付体験をしました。普段、着慣れない和服に苦戦をしながらも、笑顔が溢れ、楽しい時間を過ごしました。外は肌寒い日でしたが、太陽が出て日が当たると暖かく、陽だまりで記念撮影をいたしました。



高2）施設見学に行きました

12月18日（火）

職場見学で北部リサイクルセンターへ行きました。実際に働いている方の分別のスピードを見て、びっくりしていました。質問コーナーでは、学生と社会人の違いについて質問があり、「遅刻をしてはいけないこと」と答えていただきました。



高1）ファイナンスパーク学習をしました

12月20日（木）

ファイナンスパークでは、生活にかかるお金の学習をしました。生活費にはどんなものがあるのか、どのくらい金額かかるのかを学習しました。パークにある店のブースを回って項目別に計算し、1ヶ月の生活費を出していきました。

